



自作セット パーツの犬モデル 101・102・104 詳細マニュアル



この詳細マニュアルでは、パーツの犬モデル 101・102・104 で使用するマザーボード上のコネクタや、組み立て時の注意点を解説します。パソコンの基本的な製作方法は、「自作パソコン 組立マニュアル」をご覧ください。

http://www.dospara.co.jp/5info/img/lp_jisaku/jisaku_manual_150326.pdf

マザーボード (H170 PRO4) の各コネクタ

※マザーボード付属の SATA ケーブルは 2 本です。

標準構成の HDD・光学ドライブで使用しますので、SATA SSD などを増設する際は SATA ケーブルを別途ご用意ください。

※マザーボードの Fulmo Q への取り付けはミリネジを使用します。

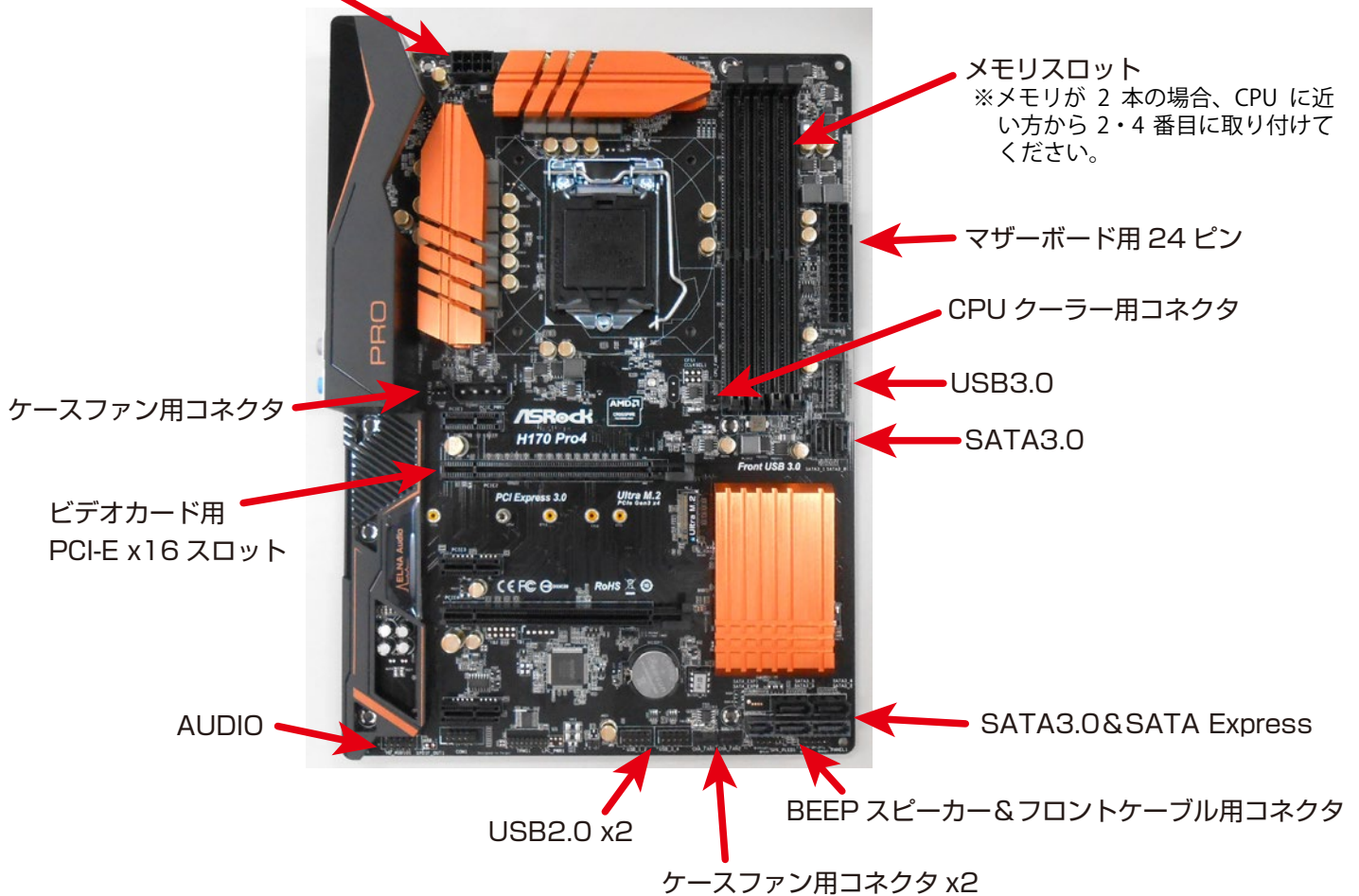
※PCI Express スロットの上にあるペリフェラル 4 ピンコネクタは、ビデオカードや TV チューナーなど増設カードを 3 枚以上取付けた際の補助電源用ですので、通常は使用しません。

※従来の PCI スロットは搭載しません。TV チューナーなど周辺機器をご購入の際はご注意ください。

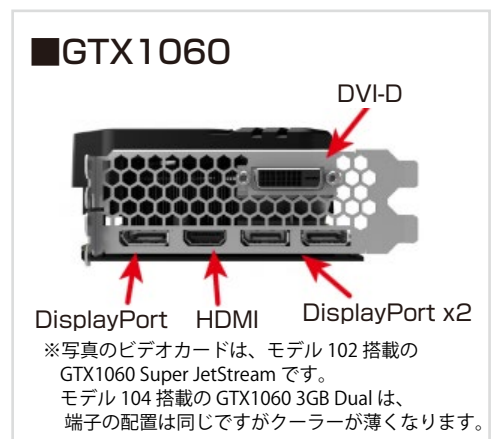
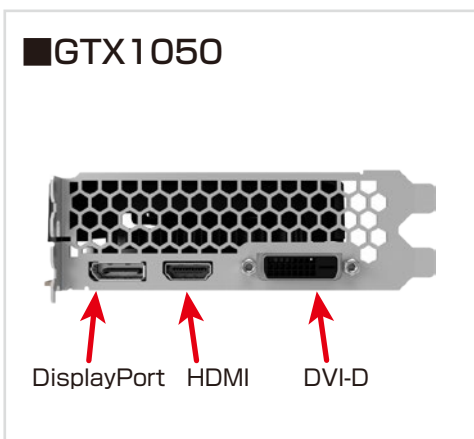
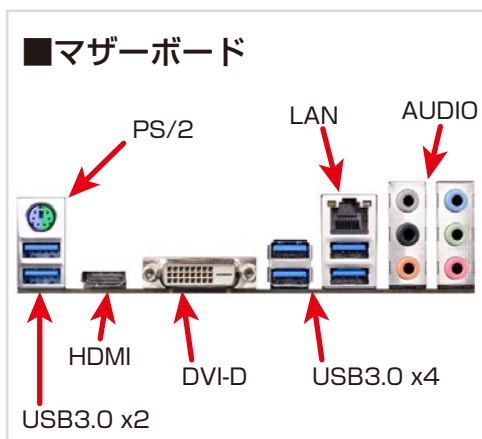
※本モデルの画面出力はデジタルのみとなります。アナログ出力をお求めの方は、対応ビデオカードを別途ご用意するか、もしくはモデル 105・107 をご参照ください。 http://www.dospara.co.jp/5info/cts_lp_jisaku

※ビデオカード搭載モデルの場合、ディスプレイ用ケーブルはビデオカードに接続してください。

マザーボード用 8 ピン



背面の出力端子



※写真のビデオカードは、モデル 102 搭載の GTX1060 Super JetStream です。モデル 104 搭載の GTX1060 3GB Dual は、端子の配置は同じですがクーラーが薄くなります。

組み立て時の注意点

1. 5 インチベイベゼルの外し方



ケースが Fulmo.Q の場合は、内側から赤枠部分のロックを矢印方向に少し引きながら、ベゼルを外側に押し出して下さい。



Fulmo.Q PLUS の場合は、2カ所のロックを矢印方向に押ししながら、ベゼルを外側から内側に押し込んで下さい。

2. 電源の取付方法とケーブルマネジメント



ファンを下向きに取り付けます。
101・104のマザーボード用8ピンをケースの裏側を通す場合は、延長ケーブルを使用して下さい。

3. VGA モデルはブラケットを先に外す



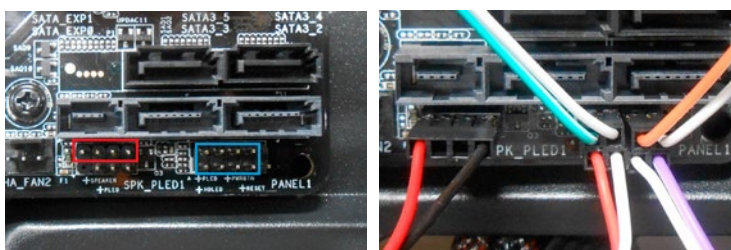
VGA 搭載モデルでは、マザーボードを取り付ける前に、上から2・3番目のブラケットを外しておきましょう。

4. SATA3.0 ケーブルの接続順



HDD/SSD は SATA3_0 (赤枠)、光学ドライブは SATA3_5 (青枠) に接続します。
HDD や SSD を 2 台搭載する場合は、起動用ドライブを赤枠、2 台目のドライブは ATA3_1 (緑枠) に接続します。

5. フロントパネル用ケーブルの配線



赤枠部分に BEEP スピーカーを、青枠部分にフロントパネル用ケーブルを配線します。BEEP は赤い線を左側、フロントパネル用は写真の通りに接続して下さい。

※ケースが Fulmo.Q PLUS の場合、右下の RESET (白と紫) ケーブルは白と青になります。

6. Windows7 インストール時の注意点



Intel 100 シリーズの USB は xHCI のため、Windows 7 のインストール時に USB の操作ができなくなります。

PS/2 接続のキーボード or マウスを使用するか、UEFI 内の「Advanced」→「USB Configuration」にある「Port 60/64 Emulation」もしくは「PS/2 Simulator」(UEFI バージョンによりいずれかの表記になります) を「Enable」に設定して下さい。

自作セット パーツの犬モデル 101・102・104 詳細マニュアル



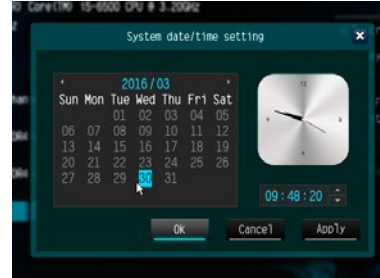
UEFI の基本設定

1. モード切替



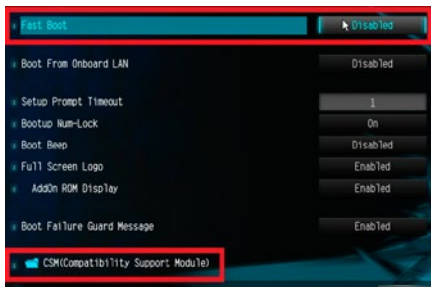
最初はこの EZ MODE で表示されます。F6 キーを押して Advanced Mode に切り替えてください。

2. 時刻設定



初期設定時は時刻が日本時間ではありません。時計部分をクリックして修正してください。

3. CSM・Fast Boot 設定



「Boot」タブでは、「CSM」を「Disable」に、「Fast Boot」を「Fast」 or 「Ultra Fast」にすると、OS の起動が高速になります。「UltraFast」の場合、高速すぎて起動時に DEL を押して再度 UEFI に入るのが困難になりますのでご注意ください。

4. Boot 順番設定



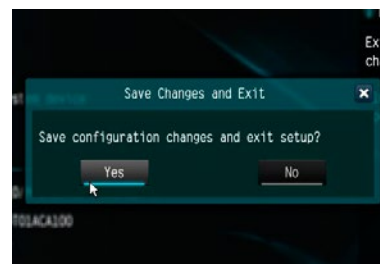
「Boot Option Priorities」では、OS のディスクを入れている DVD ドライブ (UEFI: 光学ドライブ) を #1 にすると、PC 再起動時に OS 用ディスクをすぐ読み込みます。ただし、起動時に F11 キーを押すと起動ドライブを指定できるほか、OS インストール後には #1 が「Windows Boot Manager」に変わってしまうので、変更しなくても問題はありません。

5. Secure Boot 設定



「Security」タブの「Secure Boot」を「Enable」にすると、下に Key 状態が表示されます。「Clear Secure Boot Keys」になるようにしてください。

6. 設定保存と再起動



その他設定はデフォルトのままです。最後に「Exit」の「Save Changes and Exit」で「Yes」をクリックすれば、設定を保存して再起動します。

●モデル 101 組立例 完成画像です。

完成後の OS やドライバインストール方法は、「自作パソコン 組立マニュアル」をご覧ください。



※ Fulmo Q ケースの拡張スロット数は 6 です。
7 段目 (再下段) のスロットは通気用となりますので使用できません。

■お困りの際はこちらまで

パソコンの故障修理・診断・増設はおまかせ
困ったときのドスパラサポート
<http://pc119.dospara.co.jp/>



■ご購入・お問合せはこちら

ドスパラ通販サイト
<http://www.dospara.co.jp/>

